

【第1回】
花粉症などの
アレルギー現象

奥田内科 

TEL045-830-6161

洋光台駅1分・シヨップ27 2階
okudanaika.com

洋光台駅前で内科
を開業しています。

最近スギ等のアレルギーが増加しております。これは正常な免疫反応を司るBリンパ球、Tリンパ球等が活性化し過ぎる事が原因で、鼻水、目の痒み、皮膚炎を伴う事があります。これを治す方法はB、Tリンパ球等の活性化を下げることでです。最近抑制性

T細胞(Tレグ)と呼ばれる細胞を活性化すればよいという考え方も出ています。

最近の子どもにもアレルギーが多いのは昔の様に寄生虫病、不衛生な微生物に小児期遭遇する泥んこ遊びなどしなかったので、免疫反応が充分成熟しない子が増加したとの説もあります。一般的には抗アレルギー剤を出しますが、場合によりセレスタミン等のステロイドの入った薬、さらに重症な場合には、ケナコルトというステロイドを注射する事があります。特に花粉、ハウスダストなど一度検査して原因を調べてそれから治療をする様勧めています。



院長・医学博士
横浜市大名誉教授
奥田 研爾